

図書ボランティア活動報告

高学年 読み聞かせ

2025.7.15

6月25日(水)8:15~(10分間)

図書ボランティア 保護者



4年1組	読み手:佐藤	4年2組	読み手:佐藤
<p>▼ねずてん</p> 	<p>日本独特の昔話や、言い回しを感じて欲しかったのでこの本を選びましたが、4年生の中には難しいと感じる子もいたかも知れませんが、あらすじは、山奥の村で昔から噂されている、「ねずみの天ぶらを作ると、狐や狸が人間に化けてこそって買いに来る。」というのを実際に試み、不思議な体験をする。という話で、不気味な場面もありましたが、読み終え子どもたちの表情を見ると、絵本と同じように不思議な体験をしたような顔の子がいたり、真剣な顔をしている様子がありました。ただ、言葉がやはり難しい物もあったので読みながら分かりやすい単語に言い換えたりしました。読む前に簡単な説明を言っても良かったかな。と次回の課題にしています。</p>	<p>▼おさる日記</p> 	<p>皆さんに絵本のチョイスをサポートして頂いたおかげで、時間内に読み終えることができました。4年生なので、導入はクイズを出しました！ほんとは何問かやりたかったが、時間の関係もあるので、1問だけクイズして、そのまま絵本へ。子どもたちは食い入るように見てくれ、途中で子どもたちとも、えー！そんなことあるー？なんて話ながら進めたので、最後まで聞いてくれました。25分ぴったりに終わり、とても楽しい時間でした♪</p>
5年1組	読み手:石川	5年2組	読み手:大竹
<p>▼ほんとうのことをいってもいいの？</p> 	<p>先生は張り切っていて、盛り上げて下さいました。が、テンション低めな子供達。でも真剣にじっくり聞いてくれていました。海外の話は感覚の差が微妙にあるので、そう言う文化の違う事を含めて何かしら感じて欲しいな…と思いました。本当も嘘も思いやりのある言葉が大事だと言う話でした。最後先生に感想を聞かれ、ノーコメントな子供達でした。</p>	<p>▼空をつくる</p> 	<p>『そらいろ男爵』と悩み、生徒にどちらが良いか選んでもらいました。「どうなったと思う？」というような疑問の文では自分の考えを述べてくれる生徒もいて、みんな真剣に聞いてくれたと思います。「空をつくる」という題名と内容が想像していたのと違って面白かった、という感想を生徒からいただきました。読書オリンピックに記入できるということで本は最後先生に預けて息子経由で返却という流れに気付いたらなっていたので、そういうこともあると念頭においておくとう良いかと思えます。先生の前置きが長いので5-6分の本がちょうど良いかと思えます。</p>
6年1組	読み手:小山	6年2組	読み手:木暮
<p>▼このよでいちばんはやいのは</p> 	<p>このクラスは各自自席で聞くスタイル。が、子どもたちは集中して聞いてくれました。ウサギとカメの速さ比べから始まり、カモシカ、ジェット機、地球の自転、光…さいごは人の想像力まで一気に進みます。想像力の大切さを感じてくれたらいいなと願って。</p>	<p>▼青葉の笛</p> 	<p>『平家物語』を基にした絵本。一ノ谷の合戦における逸話が題材。社会の授業で歴史がはじまるというので選書しました。文章が勇ましくもあり美しくもあり。ちょっとしたドラマを見せられているようでもあります。10分で読み終えるにはほんの少しだけ長いので、時間内に収めるため、また戦モノということで勢いをつける(?)ため(後付けの理由ですが…)気持ち早口で読みました。舞台となっている時代はまだ学習していないようだったので、読み始める前に”1184年頃の話で「祇園精舎の〜」(←序文は国語で学習済み)ではじまる『平家物語』が基になっている”云々とひとこと話してから開始しました。</p>

現在水曜日の朝の時間に、図書ボランティア保護者による読み聞かせを実施しています。

図書ボランティア参加ご希望の保護者の皆様、随時大募集中です！！詳細は図書館支援員(植)まで

